

題名 広島平和記念式典派遣事業に参加して考えること。

鹿沼市立加蘇中学校 (氏名) 大貫 葵生



3日間という短い期間でしたが、派遣事業に参加することができて、戦争がひきおこす悲劇と被害について学び、平和に対する自分の意識や知識を広げることができました。

自分の目で原爆ドームや資料館の展示物を見て、原爆が人々へもたらした莫大な被害や家族を失うことの悲しさを痛感しました。また、今過ごしている日々はけっしてあたりまえではないこと、言葉では表現しきれないほど命は尊くはかないものだということを再認識しました。被爆した方々の遺品やその当時の悲惨さをありのままにうつした写真はとても印象強く、心に残っています。私たちと同じ年の子、それよりも小さい子たちからお年寄りまで、約33万人の人々が亡くなった、という事実をもっと多くの人に、国までも越えて知ってほしいと思いました。慰霊碑に刻まれた「安らかに眠って下さい過ちは繰返させぬから」という碑文は、私の胸に深く突き刺さりました。戦争を過去のこととなおざりにするのではなく、自分事のように捉えてもらえるよう、広島で学んだこと、感じたこと、それから考えたことをたくさんの人に伝えて広めたいです。